

単元		学習内容		観点				評価規準	評価基準	
節				関	見	表	知		A 十分満足	B おおむね満足
1 節 正負の数	符号のついた数	①	反対の性質を持つ量や変化を正負の数を使って表す。	○				正負の数に関心をもち、それを用いて、反対の性質をもつ量や変化を表そうとする。	正負の数が見つけ、それを用いて、反対の性質をもつ量や変化を表そうとする。	身近な例を通して、正負の数に関心を持ち、それを用いて、反対の性質をもつ量や変化を表そうとする。
		②	基準を決めて、それよりの大小を、正負の数を使って表す。			○		基準を決めて、それより大きい小さいかを、正負の数を用いて表すことができる。	自分で適当な基準を決めて、それより大きい小さいかを、正負の数を用いて表すことができる。	与えられた基準より大きい小さいかを、正負の数を用いて表すことができる。
	数の大小	③	正負の数を数直線上に表す。	○				負の数をふくめた数についての数直線に関心をもち、正負の数を数直線上に表そうとする。	負の数をふくめた数の数直線を考えようとし、正負の数を数直線上に表そうとする。	負の数をふくめた数についての数直線に関心をもち、正負の数を数直線上に表そうとする。
		④	数の大小関係を不等号を使って表す。			○		正負の数の大小を判断することができる。それを不等号を使って表すことができる。	絶対値をもとに正負の数の大小を判断し、それを不等号を使って表すことができる。	数直線をもとに正負の数の大小を判断し、それを不等号を使って表すことができる。
	まとめ	⑤	正負の数のまとめをする。 (基本の問題、他)			○	○	正負の数を用いて数の関係を表すことができる。	正負の数や絶対値の意味を理解し、それを用いて数の関係を表すことができる。	正負の数を用いて数の関係を表すことができる。
2 節 加法と減法	加法	①	正負の数の加法の意味と計算方法を考える。		○			加法の原理を考えることができる。	正負の数の加法の原理に気づき、計算方法をまとめることができる。	正負の数の加法の原理について考え、計算方法を見つけることができる。
		②	正負の数の加法を計算する。				○	加法の計算方法を理解することができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解し、説明することができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解することができる。
		③	3つ以上の加法を計算する。			○		交換法則、結合法則を利用して、正負の数の加法の計算ができる。	交換法則、結合法則を利用して、3つ以上の正負の数の加法を能率的に計算することができる。	交換法則、結合法則を利用して、3つ以上の正負の数の加法の計算ができる。
	減法	④	正負の数の減法の意味と計算方法を知る。		○			減法の原理を考えることができる。	正負の数の減法の原理に気づき、計算方法をまとめることができる。	正負の数の減法の原理について考え、計算方法を見つけることができる。
		⑤	正負の数の減法を計算する。				○	減法の計算方法を理解することができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解し、説明することができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解することができる。
	加減の混じった計算	⑥	加法と減法の混じった式を加法だけの式になおす。		○			負の数を考えることの良さに気づく。	正の数だけではできなかった減法を、負の数を用いて考え、そのよさに気づく。	負の数を考えることによって、減法がいつでもできるようになったことを知り、負の数を考えることのよさに気づく。
		⑦	加法と減法の混じった式を代数和の形で表す。			○		加法と減法の混じった式を代数和で表すことができる。	加法と減法の混じった式を代数和の形で表し、その計算ができる。	加法と減法の混じった式を代数和の形で表すことができる。
		⑧	加法と減法のまとめをする。 (基本の問題、他)	○		○	○	加減の計算に関心を持ち、その計算方法を理解し、計算できる。	加法と減法の計算方法や法則を理解し、能率的に計算ができる。	加減の計算に関心を持ち、その計算方法を理解し、計算できる。

単元		学習内容		観点				評価規準	評価基準	
節				関	見	表	知		A 十分満足	B おおむね満足
3 節 乗法と除法	乗法	①	正負の数の乗法の意味と計算方法を考える。		○			乗法の計算方法を工夫して考えることができる。	正負の数の乗法の原理に気づき、計算方法をまとめることができる。	正負の数の乗法の原理について考え、計算方法を見つけることができる。
		②	乗法の計算をする。				○	乗法の計算方法を理解し、その計算ができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解し、説明することができる。	符号や絶対値をもとにした計算方法を理解することができる。
		③	3つ以上の数の乗法を計算する。			○		交換法則、結合法則を利用して、3つ以上の数の乗法を計算することができる。	交換法則、結合法則のよさを明らかにしながら、3つ以上の数の乗法を効率よく計算することができる。	交換法則、結合法則を利用して、3つ以上の数の乗法を計算することができる。
		④	3つ以上の数の乗法を計算する。		○			負の数の個数と計算結果の符号の関係に気づき、3つ以上の数の乗法を計算考えることができる。	負の数の個数と計算結果の符号の関係に気づき、その考えを用いて3つ以上の数の乗法の計算を考えることができる。	負の数の個数と計算結果の符号の関係に気づき、3つ以上の数の乗法の計算を考えることができる。
		⑤	累乗の意味とその計算方法を知る。			○		同じ数の積を累乗の指数を用いて表すことを理解し、その計算ができる。	累乗の指数の便利さを理解し、累乗をふくむ計算をすることができる。	同じ数の積を累乗の指数を用いて表すことができ、その計算ができる。
	除法	⑥	正負の数の除法の意味と計算方法を考える。		○			除法の計算方法を考えることができる。	正負の数の除法の原理に気づき、計算方法をまとめることができる。	正負の数の除法の原理について考え、計算方法を見つけることができる。
		⑦	逆数を使って、除法を乗法に直して計算する。			○		逆数を求めることができ、それを使って除法を計算することができる。	逆数の意味を理解し、それを使って除法を乗法に直して計算することができる。	逆数を求めることができ、それを使って除法を乗法に直して計算することができる。
		⑧	乗法と除法の混じった計算をする。			○		乗除の混じった計算の手順を知り、その計算ができる。	乗除の混じった計算の手順を理解し、その計算ができる。	乗除の混じった計算の手順を知り、その計算ができる。
	四則計算	⑨	正負の数の四則の混じった計算をする。				○	四則の混じった計算の計算順序を理解する。	四則の混じった計算の計算順序を理解し、その説明ができる。	四則の混じった計算の計算順序を理解できる。
		⑩	分配法則を利用して計算する。			○		分配法則を利用して、正負の数の計算をすることができる。	分配法則を利用して、正負の数の計算を能率的にすることができる。	分配法則を利用した正負の数の計算をすることができる。
	正負の数の利用	⑪	正負の数を利用して、身近な問題を考える。		○			問題解決に、正負の数を利用することの良さに気づく。	正負の数を考えることのよさや有用性に気づき、正負の数を利用して効率よく問題を解決することができる。	問題解決に正負の数を利用することの良さに気づき、問題を考えることができる。
		⑫	乗法と除法のまとめをする。 (基本の問題、他)	○		○	○	乗法と除法の計算に関心を持ち、その方法を理解し、計算できる。	乗法と除法の計算方法や法則を理解し、能率的に計算することができる。	乗法と除法の計算に関心を持ち、その計算方法を用いて計算できる。
章問題	まとめ	①	正負の数の性質や四則計算のまとめをする。 (章の問題 A、他)	○		○	○	正負の数に関心を持ち、その意味を理解し、計算をすることができる。	正負の数に関心を持ち、その意味やそれを考えることのよさを理解し、能率よく計算することができる。	正負の数正負の数に関心を持ち、その意味を理解し、計算をすることができる。